

東京大学運営方針委員の略歴及び選考理由

氏名：Geeta Mehta（ギーた めーた）

現職：コロンビア大学 Adjunct Professor、Asia Initiatives 会長

略歴：1972 年 School of Planning and Architecture in New Delhi 卒業

1975 年 コロンビア大学建築学科大学院修士課程 修了

1990 年 Braden and Mehta Design Office パートナー（～現在）

1998 年 東京大学大学院工学系研究科博士課程 修了

1998 年 テンプル大学ジャパンキャンパス

Associate Professor of Architecture and Urban Studies（～2009 年）

1999 年 Asia Initiatives 会長（～現在）

2008 年 URBZ: User Generated Cities 共同創設者（～現在）

2009 年 コロンビア大学建築学科大学院

Adjunct Professor of Urban Design（～現在）

2011 年 ニューヨーク大学 Schack Institute Adjunct Professor（～2017 年）

2019 年 コロンビア大学地球研究所 Research Affiliate（～現在）

2020 年 コロンビア大学 Center for Resilient Cities and Landscapes

Faculty Affiliate（～現在）

運営方針委員の在任年数：0 年

【選考理由】

Mehta 氏は長年にわたり建築デザインを行うとともに、テンブル大学ジャパンキャンパス、ニューヨーク大学、コロンビア大学において建築や都市デザインに関する教育研究に携わってきた。1999 年には社会資本の力を活用して恵まれないコミュニティの人々の生活の質の向上に取り組む非営利団体である「Asia Initiatives」を設立し、現在に至るまでその会長を務めているほか、2008 年には恵まれないコミュニティと協力して街、地域、都市の改善を図る組織である「URBZ: User Generated Cities」の共同創設者となった。さらに、米国に設立された NPO 法人である FUTI（Friends of UTokyo, Inc：東大友の会）の諮問委員会に 2011 年から加わっており、現在は FUTI の理事（国際同窓生プログラム担当）を務め、本学のコミュニティ強化に貢献している。

以上のとおり、Mehta 氏はその経歴から大学の教育研究活動に関する十分な知識・理解とともに、非営利団体のマネジメントや社会活動などに関する専門的知見など高い識見を有しており、東京大学憲章をはじめとする本学の理念・目標を共有し、世界の公共性に奉仕する東京大学の使命を踏まえ、東京大学と社会のステークホルダーの双方向的な連携を推進し、建設的な対話を通じ、互いに共通する公共的な利益を追求できるよう尽力する意思を有することが認められることから、本学の運営方針委員に相応しいと判断した。

以上